

確認してみましょう

いくつかの〇がつくかな？

女の子なんだから優しく、男の子なんだからたくましく、と決めるのはおかしいと思う	
リーダーは男の子も女の子も、みんながなれるチャンスがあると思う	
乱暴な言葉づかいや行動は、女の子も男の子も気をつけるべきだと思う	
男の子が手芸や料理を趣味にするのもいいと思う	
女の子がサッカーや野球をするのもいいと思う	
友だちや仲間との関係は、平等に意見が言える関係がいいと思う	

「女だから」「男だから」にこだわらず考えていると〇の数が増えるよ！

スポーツが好き、読書が好き、好きな色、好きな食べ物など、私たちがだれもが「自分らしさ」を持っています。あなたの「自分らしさ」もあなたの友だちの「自分らしさ」もどちらも大切にしましょう。



昔はほとんどの小学生が、女の子は赤色のランドセル、男の子は黒色のランドセルを使っていました。今、あなたや、あなたの友だちのランドセルは何色かな？

きっとさまざまな色のランドセルを使っているでしょう。どれも素敵な色ですね。

これっておかしいよね？という、ひとりひとりの意見から、「男性とはこうあるべき」「女性とはこうあるべき」という意識が、変化していくことになるんですね。

保護者のみなさまへ

子どもの健やかな成長を願うなかで、「男の子らしく」「たくましく育てほしい」「女の子らしく」「やさしい子に育てほしい」ということがあるのではないのでしょうか。しかし、「男の子だから」「女の子だから」という性別を理由にこうあるべきと考えることは、子どもひとりひとりがもつ可能性や選択の幅を狭めてしまうことにもなるのです。

依然として「男性は仕事をして、女性は家事や育児をする」という性別で役割を決めてしまう性別役割分担の考え方が残る社会で、子どもたちは成長していきます。また、働く人が性別を理由に差別されることがないように男女雇用機会均等法が整備されてきましたが、いまだに自らが希望する職業を選択できなかったり、自らの能力を発揮する機会が与えられなかったりすることがあるのです。

男女共同参画社会は、誰もが平等に学んだり働いたりするチャンスが与えられ、対等な立場で責任も分かち合える社会のことを言います。このような社会を実現するためには、私たち大人が、「男らしさ」や「女らしさ」という枠のなかに子どもたちを当てはめてしまうことのないよう意識を変えていかなければなりません。

子どもたちが自分らしく輝ける未来のために、このリーフレットがご家族で考えるきっかけとなれば幸いです。

令和7年2月発行
安中市市民環境部市民課市民生活係
〒379-0192 安中市安中1丁目23-13
TEL 027-382-1111
FAX 027-381-7020
Email seikatsu@city.annaka.lg.jp



安中市の
ホームページは
こちらから



男女共同参画

小学生向けリーフレット

うん、
あなたらしくて
とてもいいね

令和6年度安中市男女共同参画標語コンクール
(小学生の部) 入賞作品

最優秀賞

『それぞれが得意な家事で協力し 家族で団らん 広がる笑顔』

優秀賞

『男女差で あきらめないで 君の夢 何をしたって 変じゃない』
『将来は どんな仕事につこうかな 夢が広がる ジェンダーフリー』
『じぶんのゆめ。おとこかおんなかできめない。心できめる。』
『女や男なんて関係ない。私とあなたの輝く世界は無限大。』
『おきにいり ぼくのはあかい ランドセル』
『きょう力して仕事も家事も子育てもがんばっている
三刀流のパパとママ わが家はみんな かがやいている』
『男女でも 自分らしさを 大切に』

安中市

1 一緒に考えよう！

「あれ？どうして？」と感じたことはありませんか？



あなたが、「あれ？どうして？」と感じたことを大切にしましょう。
「テレビで言っていたから」や、「大人が言っていたから」は、本当に
当たり前のことでしょうか？

好きなことや苦手なことは性別に関係なく、人それぞれです。

「男の子だから」「女の子だから」ではなく、ひとりひとりが個性
や能力を発揮して、協力し合うことを**男女共同参画**と言います。

「男女共同参画はどうして必要なの？」

本当は好きなことがあるのに、「男の子だから」「女の子だから」
というだけで、好きなことができなかったらどう思いますか？

男女にかかわらず、だれもが自分らしく生き生きと暮らせる「**男女共同参画社会**」は、将来の可能性を広げます。

夢を実現するためには、「自分らしさ」を大切に、興味がある
ことや好きなことはどんどん挑戦しましょう。

2 あなたの家では だれがしていますか？

家の様子を書いてみよう！

家の中の仕事	主にしている人	時々している人
食事の準備		
食事の後片付け		
トイレそうじ		
お風呂そうじ		
部屋のそうじ		
洗たく		
ゴミ出し		

昔は男性が外の仕事、女性が家の中の仕事をする家庭が多かったで
すが、最近では男女に関係なく外で働いている人が増えてきました。

家の中はどうでしょうか？

上の表を見てわかるように、生活の中にはさまざまな仕事がありま
すね。家族のためにだれかが我慢をしていませんか？

毎日の生活では、協力し合うことが大切です。

家族全員で過ごせる時間を持てるように、自分のできることを考え
て、家の仕事について家族で話し合ってみましょう。



3 仕事の話を 聞いてみよう！

私たちの社会では、いろいろな仕事で男女関係なく、活躍しています。
あなたの将来の夢は何ですか？どうすれば夢を実現できるでしょうか。



生徒とのコミュニケーションを
大切に

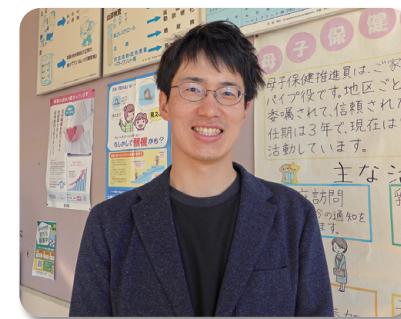
富岡恵美さん
(高校教師・音楽)

ずっと音楽を続けていたので、大学では音楽を選択しました。
教育実習の時、大変さの中にも楽しさを感じ、学校での活動を通
して生徒との仲を深めたいと思いました。授業では、ピアノ
や歌、音楽の知識も教えています。

毎年、卒業式の日には生徒からの“ありがとう”の言葉で、すべ
てが良かったことに変わる特別な日。未来ある生徒の人生のひ
と時に立ち会えるやりがいのある仕事だと思います。

病気を防ぐお手伝いをしたい

星野一希さん
(保健師)



看護師を目指し、勉強していくうちに病院で治すのではなく、
生活する中で予防するお手伝いをしたいと考え、保健師になろ
うと思いました。

私の仕事は、けんしんを行ったり、検査の結果について相談
を受けたり、アドバイスすることなどです。

周りを気にかけ、たくさんのことに興味を持ってください。
想像してみたり、行動してみたりすることが大切だと思います。

男だから、女だからではなく、
あなただからできることを大切にしてくださいね。